法政大学出版局◉新刊のご案内

2022年7月7日

通巻 326 号

① **配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願いしたします。**
希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
② **委託期間内返品可**　配本後到着の注文書を**注文扱い**にて出荷させて頂きます。
③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸甚です。
④ 小局ホームページより、**「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。**

帖合・番線　部数

法政大学出版局　**2022年8月5日配本**　定価4180円（本体3800円＋税）　四六判上製・346頁
ハンス・ブルーメンベルク 著／村井則夫 訳　**《叢書・ウニベルシタス 1146》**

メタファー学のパラダイム

ISBN978-4-588-01146-7 C1310

★　メタファー学とは、メタファーという観点から、哲学のみならず、神学・科学・文学・芸術などを横断的に叙述する新機軸の思想史である。その意図は、哲学の発生や人間の生の理解を根源的に考察しようとするところにある。概念的な規定とは一線を画した斬新な学知の光景がそこには広がっている。膨大な学殖に基づく知性の奔流を堪能し、その構想の全体像を俯瞰できる格好の案内書。　**【哲学・思想史】**

☆**関連書：ブルーメンベルク『われわれが生きている現実』『コペルニクス的宇宙の生成』『神話の変奏』（小局刊）。**

帖合・番線　部数

法政大学出版局　**2022年8月24日配本予定**　定価6600円（本体6000円＋税）　四六判上製・466頁
レザ・モサイェビ 編／石田京子、舟場保之 監訳／高畑菜子、田原彰太郎、平出喜代恵 訳　**《叢書・ウニベルシタス 1147》**

カントと人権

ISBN978-4-588-01147-4 C1310

貧困や戦争の絶えない世界で、いまなお喫緊の実現課題である「人権」。その思想的根拠を与えたとみなされる哲学者カントはしかし、道徳や政治や法をめぐる著作において、決して現代的な意味での「人権」を思索していたわけではなかった。カント哲学が今日の課題に寄与しうる点を明確にするとともに、齟齬や欠落を生じる難点も摘出することで、倫理学・法哲学の現在を読み直す12本の論文集。　**【倫理・政治哲学】**

☆**関連書：現代を代表するカント論、O.ヘッフェ『自由の哲学』、O.オニール『理性の構成』（小局刊）とともに。**

帖合・番線　部数

法政大学出版局　**2022年9月1日配本予定** 定価3080円（本体2800円＋税）　四六判上製・318頁
ポール・B.プレシアド 著／藤本一勇 訳　**《叢書・ウニベルシタス 1149》**

カウンターセックス宣言

ISBN978-4-588-01149-8 C1310

★★　ジェンダー、フェミニズム、性の脱植民地化の思考においていま最も過激で先端的な哲学者プレシアド。対抗的な性的身体の可能性を、セックストイ、ポルノ、ドラッグなど技術の歴史の読解から導き出し、生物学的に自然なものとされてきた異性愛中心主義的・性別二元論的な体制の脱構築を図る。フーコー、ドゥルーズ、デリダを批判的に継承し、フェミニズムとクィア理論をさらに推し進める解放の書！　**【哲学・思想】**

☆**関連書：マラブー『抹消された快楽』（小局刊）。J.バトラー、イヴ・K.セジウィックなどクィア理論書とともに。**

帖合・番線　部数

法政大学出版局　**2022年9月2日配本予定** 定価3410円（本体3100円＋税）　A5判並製・354頁
日本ミシェル・アンリ哲学会 編

ミシェル・アンリ読本

ISBN978-4-588-15127-9 C1010

★　主著『現出の本質』をはじめとする著作群で絶対的な〈生〉と内在の思想を練り上げ、西洋哲学の歴史を批判するとともに、20世紀後半のフランス現象学に大きな足跡を残したミシェル・アンリ。レジスタンスに身を投じ、現代文明の野蛮やマルクスの可能性を論じ、小説作品も残した孤高の哲学者の全体像を、日仏の執筆者約30名が総力を挙げて多面的に描く。アンリ生誕100年・没後20年記念出版。　**【哲学・思想】**

☆**関連書：『現出の本質』『身体の哲学と現象学』など小局のアンリ既刊書。『レヴィナス読本』も続けて刊行予定です。**

帖合・番線　部数

法政大学出版局　**2022年9月上旬配本**　定価4180（本体3800円＋税）　四六判上製・430頁
ミシェル・フーコー 著／阿部 崇＋福田美雪 訳　**《叢書・ウニベルシタス 1148》**

狂気・言語・文学

ISBN978-4-588-01148-1 C1310

★★　狂気、言語、文学は、長らくフーコーの思考の中心的な位置を占めていた。社会や文明における狂人の位置づけ、バロック演劇、アルトーやルーセルの作品に見られる狂気と言語の関係、文学と言語外的なもの、バルザックやフローベール、そして文学分析と構造主義。問いを絶えず組み立て直し、これらの主題系を照らし出す新たな光が、フーコーの思考の新たな射程と可能性を提示する。未刊の講演と草稿。本邦初訳！　**【哲学・思想】**

☆**関連書：フーコー『レーモン・ルーセル』（小局刊）、『フーコー文学講義』（ちくま学芸文庫）、『狂気の歴史（新装版）』（新潮社）。**

ご担当者様 氏名：[　　]　担当ジャンル：[　　]　TEL：[　　]

＊配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TEL をご記入下さい。
＊宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。

法政大学出版局　〒102-0073　東京都千代田区九段北 3-2-3
Tel. 03-5214-5540　Fax. 03-5214-5542　E-mail: sales@h-up.com　URL: http://www.h-up.com/